

⑨徳杣の田の神（勝岡地区）



- ・所在地 大字蓼池字徳杣
- ・型式 神官座像型
- ・像高 72センチ
- ・被り物 冠か
- ・持ち物 以前は木製のメシゲを笏のように持たせていたが現在はない
- ・建立年代 不明（江戸後期？）
- ・備考 この田の神は、殿岡農村広場や町営勝岡住宅に向かう坂道の途中にあります。右は馬頭観音です。三股町教育委員会発行の『田の神』（小冊子、発行年不明）には、毎年3月18日には化粧直しをしたり、掃除をし、講を行っているとあります。昭和40年頃までは蓼池郵便局隣にあったらしく、土地の関係で現在地に移り、馬頭観音と一緒に祭られたとあります。また、この田の神は高城町の石山からオットツテきたものと伝わっているそうです。

前掲『田の神』では建立年代が不明となっていますが、右写真のように正面下に「文久元年 勝岡」の刻字が見えます。文久元年は1861年で幕末に当たります。この田の神は高城町からオットツテきたとありますが、文久元年にオットツテきて「勝岡」と刻んだとは考えにくく、タノカンオットイのルールにも反しています。文久元年に勝岡で作成されたと考えるのが妥当ですが、言い伝えは大切ですので慎重な考察が必要でしょう。

